

# 楽友会通信 No.47

2011/12/13 指笛楽友会発行

b ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪ b ♪♪♪♪♪♪ ♯ ♪♪♪♪♪♪

## \*\*\* 目次 \*\*\*

-頁-

1. 指笛音楽 77 周年記念 田村大三門下生による  
「指笛音楽研究発表会」が開催されました ……有吉憲行 -1-
2. 指笛・発表会のプログラムと出演者の一言集(別紙) ……有吉憲行 -2-
3. 観客の方々からのお便り …… -2-
4. 9・11 アメリカの空に響き渡った指笛「アメージング・グレイス」 ……塩谷彰宏 -3-
5. シリーズ「私と指笛」指笛・草笛の不思議な力 ……菅井 亮 -5-
6. 総会・新年会のお知らせ ……事務局だより -6-

## 1. 指笛音楽77周年記念 田村大三門下生による

### 「指笛音楽研究発表会」が開催されました

去る9月10日(土) 練馬文化センター小ホールにおいて、田村大三先生門下生による指笛音楽77周年記念研究発表会が開催されて無事に終了しました。

例年より入場者はやや少なく 330 人程でしたが、出演者は皆元気よく舞台上に立って頂けました。プログラム内容はバラエティーに富み、指笛は勿論のこと、歌あり、踊りなどもあって多種多様でした。終りに出演者全員がステージに立ち、「故郷」を指笛演奏して沢山の拍手を頂き幕を閉じました。

お客様はきっと充分お楽しみ頂き、満足されてお帰りになられたと思います。

これも田村ファミリーをはじめ、楽友会の皆様方と関係各位のご支援と御協力があつたからこそと感謝申し上げます。

きっと田村大三先生も天国から我々の演奏を見守られて、成功を喜ばれて居られることでしょう。



2011.09.10 写真:発表会の最後に出演者全員で「故郷」を指笛演奏しました。

## 2. 指笛・発表会のプログラムと出演者の一言集(別紙)

今回は「プログラムと出演者の一言集」を別紙として、この楽友会通信に同封しましたのでご覧ください。指笛のホームページでもご覧になれます。

・プログラム→ <http://fingerflute.music.coocan.jp/yubibue/program2011.pdf>

・一言集→ <http://fingerflute.music.coocan.jp/yubibue/hitokoto2011.pdf>

一言集をお読みしますと各出演者の感謝の思い、選んだ曲への思い、指笛を奏でたい思い等が伝わってきます。また田村大三先生への思い、東日本大震災で被災された方々への思いも綴られています。

## 3. 観客の方々からのお便り

10月22日の反省会で、観客の方々から届いたお便りが紹介されました。

◎ 俳句 「指笛の鎮魂の曲秋深し」 「競ひ合ふ指笛に秋深みゆく」

◎ 絵手紙 「指笛の高く澄みゆく小望月」

◎ お手紙 「大変素敵な音色をおきかせくださり感激しております。初めて指笛を知りました。もの哀しい様な音色、軽快な音色、とても人の声では出ない様な清らかな高音…… クラシック、ポピュラー、カンツォーネ、懐メロ、ジャズ どんなジャンルでも素晴らしいですね。」

#### 4. **9・11 アメリカの空に響き渡った指笛** **「アメージング・グレイス」**

塩谷 彰宏

私は青森県ユネスコ協会の会員として活動して21年目になります。

青森県ユネスコ協会では派遣事業と招聘事業を隔年で実施していますが、平成23年現在、派遣事業はのべ185カ国 1,413人、招聘事業はのべ39カ国205人の実績があります。今年は派遣事業の年にあたり、アメリカ・カナダ親善訪問の旅を計画しましたが、旅の直前、会長にドクターストップがかかり、理事長の私が団長として、訪問することになりました。

まず、シカゴ経由で カナダ・ケベック市の ユネスコ世界文化遺産(1985年登録)北米唯一の城塞都市等の視察から始まりました。

そのケベック市から米国の首都ワシントン経由でメイン州ポートランド市に入り、青森県と友好交流をしている メイン州バス市に行きました。

メイン州では青森県友好交流推進評議会(通称:MASSAC)のメンバーの方々と交流しました。MASSACのメンバーの中には前州知事夫人等数人が、昨年青森県を訪問しており、再会を喜び合いました。

交流は9月10日と9月11日に亘って実施されました。

**9月10日**は戦闘機等が離陸できるような大型の船を造る造船所やメイン州にある大学をアメリカの人たちと一緒に視察したりしました。

夜は青森県ユネスコ協会主催のパーティでした。着物姿の青森県ユネスコの女性会員が 紙芝居絵本「つなみ」を紹介したり、「さくらさくら」を指笛音楽に合わせて手話で演舞しました。また、私は指笛で「ダニーボーイ」も演奏しました。

会場の皆さんも体を揺らしながら手拍子してくださり、大いに盛り上がりました。指笛を聴いた人の中で指をどのようにして音を出しているのか聞きに来た人もいました。

次の日は、アメリカ人にとってはもちろん、世界の人々にとっても忘れる事のできない、「**9・11**」でした。あの同時多発から丁度10年目にあたる日でした。

その2-3日前、私たちもアメリカの空港で、自動小銃を持って警戒にあたる人を何人も見ましたし、当日は、朝からテレビにはグラウンドゼロの前にオバマ大統領をはじめ、多くのアメリカ人が集まって、セレモニーを実施している様子が映し出されていました。

この日、私たちは昨年来日され、去年までMASSACの会長であった、親日家の弁護士、リサ・アダムスさんのお宅のホームパーティに招待されました。

青森県民とアメリカの人たち合わせて約50人が緑あふれる庭で、ワインやビール等を片手に和気藹々(わきあいあい)の雰囲気でお話し、歌を歌い、心から「平和な国際交流」を楽しみました。

私は、人々の幸せを願うとともに、この日のことを忘れないように、アメリカでは第二の国歌として慕われ、また犠牲者の追悼歌としてもよく歌われ知られている「**アメージング・グレイス**」をアダムスさま宅の庭園で指笛演奏しました。

指笛は晴天のアメリカの空に響き渡りました。会場内の皆様方は真剣に私の指笛に聴き入ってくださり、アメリカ人の中には胸に手をあてて聴いてくださった方もいました。私たちは「2011・9・11」を、まさに「平和な国際交流」の記念日として過ごすことができました。

ユネスコ憲章の前文に「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」とありますが、私にとって、平和を願う心を「指笛演奏」という形で表現できた記念すべき日でもありました。

## 5. シリーズ「私と指笛」 指笛・草笛の不思議な力

楽友会会員 菅井 亮

皆様ご無沙汰致しております。休眠会員の私に指笛楽友会斎藤会長より原稿依頼があり、悩みましたが活動休止を償う為にお受けすることにしました。

私は3年前まで都立の特別支援学校に奉職しておりました。又針灸指圧師でもあり二足の草鞋(わらじ)をはいております。14年前会長のご紹介で指笛コンサートを拝聴させて頂き感激して入会しました。半年後個人レッスンを受けるようになり、田村先生のお宅に通うようになりました。

たまたま大三先生が大阪公演の前日、ギックリ腰になられました。連絡を受け先生の治療をさせて頂きました。幸いなことに痛みは治まり無事公演に行かれ、先生に感謝されました。この時だけ少しお役に立てた気がし、嬉しく思いました。その後仕事や親の介護で多忙になり、レッスンも中級で終り、休眠状態になって今日に到ってしまいました。やっと親の介護、仕事の多忙さから解放されたので、これからは活動を再開し、人生を楽しみたいと思っております。

ろう学校(聴覚障害)での思い出ですが、大声で生徒に声がけしても振り返ってくれない時、指笛でピーと合図すると大よその生徒が振り返り集中してくれるのです。危険を知らせる時などピーと合図し助かりました。一芸は身を助けると言われますが、指笛のすばらしさを体験しました。

また、盲学校(視覚障害)の学校での思い出ですが、ネパールから針灸の勉強をしに来ている女子留学生がいました。この生徒がホームシックになり泣いていたので、私は草笛で故郷(ふるさと)を吹いてあげました。びっくりしたことに、ネパールでも草笛(現地ではピピリと称する)があり農作業の合間に良く吹くそうです。その生徒になつかしく涙が出たが、元気が出たと感謝されました。

指笛や草笛には不思議な力があることを、仕事を通じて感じております。これからはさらに腕をみがき、老人ホームなどの福祉施設で演奏できるよう精進して行きたいと思っております。これからもよろしくお願い致します。

## 6. 総会・新年会のお知らせ

事務局だより

### (1) 総会・新年会のご案内

期日：2012年(平成24年)1月9日(月)成人の日

会場：大泉学園駅南口 徒歩3分 練馬区立勤労福祉会館内

住所：東京都練馬区東大泉5-40-36 福祉会館の電話：03-3923-5511

時間：10:00～11:30 2F 音楽室で役員会及び希望者の指笛練習

時間：11:30～15:00 1F 「味三昧(あじざんまい)」電話：03-5933-3888

で総会と新年会を開催します。

会費：4,000円(予定)

出欠の連絡及び委任状：楽友会会員は同封の葉書にて出欠を、欠席する場合は委任する旨を、12月29日(木)迄に斎藤会長宛にお知らせください。

### (2) 2012年の78周年指笛音楽発表会について

発表会場予約の抽選に外れて、12月1日現在未だ会場が決定していませんので、しばらくお待ちください。

### \* 編集後記 (有吉憲行)

この楽友会通信47号は77周年記念「指笛音楽研究発表会」の特集号となりました。皆様方のご協力により、予定通り12月に発行できる事に感謝致します。

また塩谷様は発表会当日アメリカにいらっしゃって、指笛を吹かれた事のご報告を有難うございました。

さらに菅井様には「指笛と草笛の不思議な力」のお話を寄稿して頂きました。まことに有難うございます。

なお発表会の「プログラムと出演者の一言集」は竹中さん・武井さん・栗田さんのご努力によるものでした。厚くお礼申し上げます。

今回楽友会の皆様方、関係各位の一致協力により、77周年記念「指笛音楽研究発表会」が無事に終了できたことは喜ばしいことです。有難うございました。

これからも皆で協力して、より良い指笛楽友会へと明るく発展させましょう。